

## contents

- 2 決算特別委員会
- 5 先進地事例調査研究報告
- 6 第5回定例会
- 8 一般質問
- 12 審議結果表
- 13 陳情/3月議会日程
- 14 特別委員会
- 15 議会日誌
- 16 スマイルインタビュー/あとかぎ



写真提供

【タイトル】初日の出  
【撮影場所】ダイセル沖  
【コメント】2024年スタートです。

大竹市議会だよりの  
表紙写真を募集しています

応募方法は市のホームページ又は  
議会事務局までお問い合わせください。



# ▶ 決算特別委員会

----- 令和4年度決算を審査 -----

日域委員長以下7名の委員で構成する決算特別委員会において、10月20日～25日、慎重に審査した結果、可決すべきものと決しました。その後本会議での採決の結果原案の通り認定。



委員長：日域 究 副委員長：末広 天佑  
委員：北地 範久・小出 哲義・小田上 尚典・西村 一啓・細川 雅子

## 委員会における質疑及び答弁の一部

### ▶ 自治会活動費助成金事業 371万円

**Q** 会員の減少で自治会の会計運営は苦しい状況にある。また、会員の役員不足や高齢化により、広報配布そのものが自治会の負担になっている。自治会の役割が増えていることも踏まえ、自治会への助成内容や広報配布の方法を見直す考えはないか伺う。

**A** 現在、広報配布について近隣自治体の調査を行っている。これらを踏まえながら、運営の手法や考え方は自治会ごとに様々であるため、大竹市自治会連合会とも意見交換しながら、自治会への支援や広報配布の手法を考えていきたい。

### ▶ 高齢者移動支援事業 163万円

**Q** 予算額(293万円)に対して執行額が少ない理由と、未執行となったフェリーチケットのその後の処理について伺う。

**A** 施設入所や入院等の理由で実際、阿多田島に居住していない方も含まれているため、執行額が約6割となった。また、未執行分のチケットについては、各個人からの申請により、フェリーの利用券を配布しているため、配布後は各個人で保管していただき、返還等は求めている。

### ▶ 広域処理事業 9,073万円

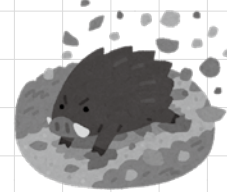
**Q** ごみ処理場管理費について、広域処理事業負担金が約1,000万円増加した理由を伺う。

**A** 広域処理事業負担金は、主に廿日市市が委託業者と契約している「はつかいちエネルギーグリーンセンター」の運営維持管理業務にかかる委託料に充てており、本市は、廿日市市に負担金として、令和20年度までの委託期間の計画に基づき、支払っている。令和4年度は比較的大規模なメンテナンス実施年度となっていたため、その分、本市の負担金も増加した。

や ちよう ひがい ぼうじよ しせつ せっち じぎよう  
**野猪等被害防除施設設置事業 29万円**

Q 野猪等被害防除施設設置事業補助金の件数及び執行額について、令和2年度、令和3年度と比較して、大幅に減少している理由を伺う。

A 野猪等被害防除施設設置事業補助金は、防護柵の設置に係る費用を補助しており耕作している農地には設置が進んでいることや豚熱による被害が少なかったことにより減少傾向にある。



けん はっこう じぎよう  
**クーポン券発行事業 2億5,795万円**

Q クーポン券発行事業について、これまでの事業の経済効果について伺う。

A クーポン券発行事業は、令和4年度まで3回実施している。実績として、  
・令和2年度は2億5,167万3,500円分のクーポン券利用で率が94.5%  
・令和3年度は2億5,176万3,000円分のクーポン券利用で率は95.9%  
・令和4年度は2億5,120万8,000円分のクーポン券利用で率は95.8%  
という結果になった。

3回とも2億5,000万円以上のクーポン券の利用があるため、単純計算でいくと、各年度で5億円以上の経済効果があったと考えられる。また、小売店の販売が伸びたことにより、小売店が利用する様々な事業者にも波及があったと考えている。

じゆうたくかいしゆうとう ほじよ じぎよう  
**住宅改修等補助事業 407万円**

Q 住宅改修等補助事業について、予算に対して執行額が少なかった原因について伺う。

A 住宅改修等補助事業のうち、建築分については、ブロック塀等除却補助事業は10件の枠に対し申請は1件であった。また、木造住宅耐震診断補助事業・木造住宅耐震改修等補助事業は、耐震診断は3件あったが、次のステップにつながない状況で、耐震改修・段階的耐震改修・耐震シェルター等については申請が無かった。もう一つの建築物土砂災害対策改修補助事業についても、申請が無かった。  
次に、住宅分については、住宅リフォーム事業は33件、383万円の補助を行った。特定空家等除却補助事業の実績は無かった。住宅リフォーム事業については、予算上の上限枠に達したため打ち切るケースもあった。



ぶん か ざいとう ふ きゅうけいはつ じぎょう

## 文化財等普及啓発事業 45万円



文化財保護費の文化財等普及啓発事業委託料の内容について伺う。



文化財等普及啓発事業については、大竹市歴史研究会へ文化財の説明板の制作と設置を委託して実施している。説明板は、4つ作製しており、亀居城の妙見丸跡に設置した石材の看板と西国街道の一里塚七里目と八里目に看板を設置している。最後に、玖波宿本陣跡の説明板を作製しているが、設置はできていない。

きんきゅう

じぎょう

## NET119緊急システム事業 19万円



NET119や映像通報システム(ライブ119)の利用状況、また、周知・支援の方法について伺う。



NET119は、令和5年10月1日現在で9人の登録があり、使用回数は令和4年度に1件、令和5年度上半期に1件となっている。ライブ119は、これまでのところ使用実績はない。また、市ホームページや健康・福祉まつりの専用ブースでの紹介などにより、周知や個別の登録支援を行っていききたい。

## 議会からの提案

令和4年度一般会計及び各特別会計の審査の中で見えてきた問題点や課題について、議会から令和6年度の予算編成における提案を行いました。

令和4年度一般会計及び各特別会計の審査に際し、大竹市まちづくり基本構想が目指す8つの幸せの実現に向け、創意工夫、鋭意努力のもとに行政運営が行われていることを再確認した。しかしながら、質疑を通じでは、「人員不足により計画どおりに事業が進んでいない」「マンパワーに限界があり事業の拡充は難しい」というような答弁も散見された。

今後、ますます多様化・複雑化する住民ニーズに応えていくためには、現体制において職員が担う業務量が限界に近いところに達するように受け止められる。

身近な幸せを実感できるまちづくりを将来にわたり推進し、本市の魅力をより一層向上させていくため、質・量、双方の観点から人材確保・人材育成を能動的かつ強力に推し進めることができるよう、令和6年度当初予算編成において反映されるよう提案するものである。併せて、本市を就職先として選んでもらうための魅力発信や、DXによる効果的な人材活用策など、多角的な視点での取組を提案する。





# 先進地事例調査研究

令和5年11月7.8.9日 総務文教委員会 委員長 小田上 尚典

- 埼玉県新座市 >>> 「にいざビジネスサポート事業」について 令和5年11月7日(火)
- 埼玉県鴻巣市 >>> 「包括施設管理業務事業」について 令和5年11月8日(水)
- 東京都荒川区 >>> 「ゆいの森あらかわ」について 令和5年11月8日(水)
- 神奈川県大和市 >>> 「文化創造拠点シリウス」について 令和5年11月9日(木)

「ゆいの森あらかわ」では医療健康コーナー、えほん館、子ども広場、学びラウンジ等の各設備が充実しており読書の街づくり条例を策定し、蔵書の多さもさることながら、ビジネス関連の資料をそろえ定期的に税理士による税務相談会を開催しているビジネス支援コーナーや、ファンがそれを目当てに訪れるという吉村昭文学館など、工夫が随所に見られる素晴らしい図書館でした。

「文化創造拠点シリウス」は文化複合施設として図書館

に芸術文化ホール、生涯学習センター、子供広場などを中心に1Fから6Fまで様々な施設が備えられ、その広さと充実した設備に視察した議員全員が感動しました。

大竹市にもこのような施設をといても人口や規模の面から大きな違いがあるので、そのままとはいかないが参考にしたいところがたくさんあり、今後の取り組みに役立てていきたいと考えています。



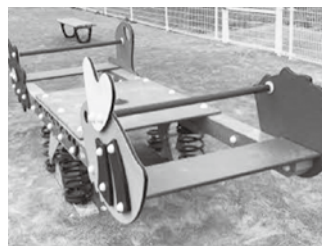
令和5年11月13.14.15日 生活環境委員会 委員長 細川 雅子

- 千葉県松戸市 >>> 「まつどDE つながるステーション事業」について 令和5年11月13日(月)
- 茨城県日立市 >>> 「公共交通によるまちづくり」について 令和5年11月14日(火)
- 茨城県東海村 >>> 「ワンストップ窓口事業」について 令和5年11月14日(火)
- 埼玉県三郷市 >>> 「インクルーシブ公園整備事業」について 令和5年11月15日(水)

三郷市では、障がいの有無に関わらず、すべての子どもたちが分け隔てなく、共に遊べる集いの場公園、すなわちインクルーシブな公園を整備し、新しいコミュニティづくりを推進しています。この事業は「三郷市緑の基本計画」に基づき、相互協力に関する包括協定を締結している跡見学園女子大学や市内障がい児施設など有識者・関係者のニーズを汲み意見を取り入れ、インクルーシブな遊び場を

整備し、利用者の交流促進を図る事業であります。

大竹市でもこういったニーズがあると考え、推進体制や予算規模、整備計画などを視察しました。また直接公園にも赴き、どのような配慮がなされ遊具が設置されたかも見せていただきました。今後、この視察を参考にし、市民の意見も取り入れ、より喜んでいただけるような公園整備を推進していきたいと考えています。



## 総務文教委員会 主な審査内容

**市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について**

**Q** 条例第1条の中で、「市長若しくは委員会の委員若しくは委員又は職員」とあるが、具体的な対象者について問う。

**A** 「委員会の委員若しくは委員」とは、地方自治法で、執行機関として地方公共団体に置かなければならぬ委員及び委員ということであり、教育委員会、選挙管理委員会などの委員会の委員及び監査委員を指す。

次に、職員とは、市長以外の常勤特別職である副市長、教育長及び一般職の職員を指し、常勤一般職員、再任用職員、会計年度任用職員が対象となる。

**Q** 最低負担額について役職に応じて定める数乗することを規定しているが、その内容について問う。

**A** 地方自治法施行令に、職員や委員の種別ごとに、最低負担額については、給与や報酬の1会計年度当たりの額に相当する額に一定の数乗じて得た額を基準とすることが定められている。

この最低負担額は、免除されない額として、政令の基準以上の額を、条例で定める必要があり、本市の条例では、政令の基準と同様に規定しているところである。

**大竹市産業振興奨励条例の一部改正について**

**Q** 事業者に対する周知について問う。また、商工会議所や中小企業診断士などの士業等にも周知をしているのか問う。

**A** 周知方法としては、固定資産税の納税通知書と共に産業奨励金のご案内も送付している。また、制度の案内や申請書類等は、市ホームページに掲載している。商工会議所等では、すでにこの制度を熟知されており、要件に合う事業者の手伝い等をしている。

**令和5年度大竹市一般会計補正予算及び、令和5年度大竹市港湾施設管理受託特別会計補正予算について**

**Q** 債務負担行為の追加の市制施行70周年記念式典に要する経費で、近年、原材料費の高騰が問題になっているが、前回の市制施行60周年記念式典と比較した想定予算の算定について問う。また、市制施行70周年記念式典の内容について問う。

**A** 市制施行60周年記念式典の時は大竹市の直営ということで、経費ことの算出ができるが、今回の市制施行70周年記念式典は民間に委託しようとしており、企画運営費や人件費等が委託料の中に含まれる。今後、民間から提案を受けて、事業者を決め、事業を運営するため、現時点の比較は難しい。

また、市制施行70周年記念式典の内容については、現時点では、9月1日にアゼリアおおたけ全館を使用し大竹の魅力を実感してもらえようというイベントの開催を想定している。具体的な内容については、今後、民間から提案を受けたいと考えている。



**Q** 事業継続費の補正の大竹駅東西広場整備事業で、工期が遅れた理由と予算額が増額になった理由について問う。

**A** 工期の遅れについては、令和5年2月19日に自由通路と橋上駅舎の供用開始を行ったあとに、JR西日本において、旧駅舎の解体及びホームの屋根の復旧工事を行っている。本来は9月末までに完了する予定であったが、12月まで進捗が遅れている。大竹駅東西広場整備工事は、JR西日本の工事の終了後でないとして着手が

できないため、西口広場全体の完成を令和6年度中から令和7年度中に変更するものである。

次に、予算の増額については、資材価格の高騰が原因である。具体的には、西口広場のロータリーと交流広場に設置するシエルトの資材価格が高騰している。



採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決

# 生活環境委員会 主な審査内容

**大竹市漁業集落排水事業及び大竹市農業集落排水事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について**

**Q** 漁業集落排水事業及び農業集落排水事業の今後の使用料改定について下水道局の考えを問う。

**A** 農業集落排水事業及び漁業集落排水事業の使用料については、これまで公共下水道料金を引き上げる時に、同等となるように引き上げを行っている。公共下水道経営戦略を5年に一度見直しを行う際、公共下水道料金の引き上げが必要かどうかを判断し農業集落排水・漁業集落排水の使用料についても検討する。

**大竹市保育所設置条例の一部改正について**

**Q** 大竹保育所を改修している約1年半の間、現状より人数が多い状態で本町保育所での保育が行われるが、安全面の配慮について問う。

**A** 保育補助員を配置するなど、安全面や児童の心理面に配慮した職員配置を行っていくことを考えている。また本町保育所周辺の民間駐車場を追加で確保する予定である。

**財産の無償貸付けについて**

**Q** 旧松ヶ原小学校の土地、建物を、平成31年度から無償貸与しているが、事業内容、利用状況を問う。

**A** 現在、社会福祉法人美和福祉会が、旧松ヶ原小学校において行っている事業内容や利用状況は、就労継続支援B型については、主に平日の開所で、定員10名に対し、利用率は、月平均88%である。次に、生活介護事業は主に平日の開所で、定員14名に対し、利用率は月平均91%である。また日中一時支援事業は、定員6名に対し、利用率月平均15%であるが、平日は生活介護など別のサービスを利用される方がおられる為である。相談支援事業では56名の方が契約されている。

**大竹市国民健康保険条例の一部改正について**

**Q** 産前産後期間における保険料の免除について出産予定月での申請とのことだが、出産月での修正申告は可能かを問う。

**A** 出産予定月と出産日が異なる事実が判明した場合であっても届け出を行う世帯主等の負担軽減の為、保険料の再計算は行わない運用が原則であるが、そのことにより不利益が生じる場合は、世帯主からの修正申告により再計算を行うことが出来る。チ

ラシ等により周知を図る予定である。

**市道路線の認定について**

**Q** 元町二丁目から和木町瀬田をつなぐ橋梁を市道認定する理由及び今後の管理について問う。

**A** 市道認定しようとする橋は、完成してから約30年経過している。現在、市道橋において実施している橋梁長寿命化事業と同様、特定財源を利用して詳細な点検調査を実施し、道路法の道路として適正な維持管理を行うために、市道路線として新たに認定する。和木町とは、これまでと同様に、協定書に基づき管理を行う。今後、橋梁点検の実施や点検による補修工事が必要な場合には、大竹市で施工し、和木町には半分の負担金を出して頂くかたちで行う。



中市堰歩道橋

採決の結果、すべての議案が

原案のとおり可決



本会議での採決の結果

原案のとおり可決



第5回定例会は、令和5年11月30日～12月14日の15日間に開催されました。詳細については、令和6年3月ごろに本会議録が製本されますので、市ホームページ、市情報公開コーナー、図書館等でご覧ください。市ホームページから録画中継もご覧いただけます。



## 第5回定例会



大竹市議会YouTube

名前横の時間は一般質問開始時間です。



# 一般質問

**末広 天佑**

(3:50~)

インボイス制度施行後の対応について

**岡 和明**

(29:04~)

大竹駅伝の存続について再度問います

**藤川 和弘**

(1:04:45~)

マロンの里交流館について  
晴海臨海公園多目的グラウンドについて

**豊川 和也**

(1:40:05~)

選挙の投票率向上へ向けた取組みについて  
施設や公園の命名権（ネーミングライツ）の活用について  
市役所庁舎前広場でイベントなどの活用を

**中野 友博**

(2:30:19~)

大竹市公式Instagram導入について

**日域 究**

(3:08:25~)

土地存在の確認について何う  
公共交通のあり方について

**小出 哲義**

(3:46:15~)

空き家問題として現れる地方都市が抱える課題解決に向けて

**西村 一啓**

(4:20:55~)

市内の市道管理や維持等について何う

問

インボイス制度施行後すでに事務の負担が多く増えており、税理士も大きな問題としてとらえています。国も施行前から周知に力を入れているが、未だになんのこともかわからず質問をされる方も多いのが現状です。  
特に一人親方の多い本市において、ほっておくことのできない問題になりつつあります。そのような状況下で、本市の働き手を維持するためには国の施策を待たずに自治体の状況に合わせた早めの対応が必要となります。  
本市の今後の方針について伺います。

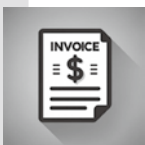
インボイス制度施行後の  
対応について



すえひろ てんゆう  
**末広 天佑**

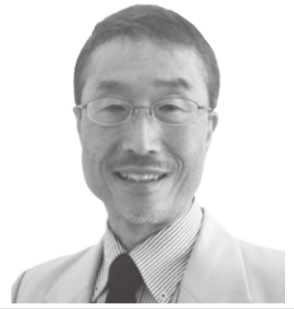
答

インボイス制度とは、適格請求書いわゆるインボイスの発行・保存を条件に、消費税の仕入税額控除を認める国が運用する制度です。  
本市では、廿日市税務署の依頼を受けて、インボイス制度の説明会の案内を、これまで広報紙に3回掲載しており、また大竹商工会議所では、インボイス制度についてのセミナーなどが開催されています。  
国は、小規模事業者の負担を抑えるため、免税事業者からインボイス発行事業者に転換した場合の特例措置を設け、制度の円滑な導入を促進しています。これまで免税事業者だった下請け業者が、インボイス発行事業者になると新たな税負担が生じますが、その分を元請け業者との取引価格に適切に反映し、また元請け業者が発注者に適切に求めることが、今後、あるべき形であろうかと考えています。  
インボイス制度は、10月に開始されたばかりですので、現時点では、本市の産業への影響は把握できていません。今後もインボイス制度に関する情報や中小事業者などに関する情報を収集していきたいと考えています。



AIが作成したイメージ





おか かずあき  
**岡 和明**

## 大竹駅伝の存続について 再度問います

本市の市制前からの歴史を持つ大竹駅伝は、令和5年1月の第70回開催の20日前に突然中止され、十分論議されず廃止の危機にあります。存続を望む市民の声が多く出ています。

私は9月、開催容易な晴海堤防道路を利用する新コースを提案し、海と島の絶景をのぞむ「せとうち駅伝」の名称も提案しましたが、交通渋滞の恐れなどを理由に採用しないとの答弁がありました。提案したコースは信号も横切りもなく渋滞も考えられないため、答弁者がコースを誤認したもようです。  
新コースを再度説明した上

### 答

で考えを尋ねるとともに、駅伝が世界各地でROADENの名で続々開かれる中、廃止により本市が失う文化発信手段の大きさにについても認識を尋ねます。

議員が提案された新コースは、複数の大型商業施設への出入り規制や迂回路の設定、こいこいバスの運行ルートの変更、警備員の複数配置など実施する上でさまざまな課題があります。また、堤防の管理道は斜面や高さがあり転落防止設備もなく、競争性の高い駅伝の走路として使用するためには走者や見学者などの安全確保が必須となることから、ご提案のコースでの実施は困難と考えます。  
大竹駅伝が歴史ある伝統文化として成長してきたことは承知していますが、駅伝をいかに継承していくかは時間をかけて検討していく必要があると考えています。



900チーム参加のDHL  
ブリュッセル駅伝(令和5年10月)  
公式ホームページ  
(<https://brusselsekiden.be/en/>) より



ふじかわ かずひろ  
**藤川 和弘**

## マロンの里交流館について

マロンの里交流館が完成して24年、数カ所の雨漏りやテラスも古くなっており、大規模改修が必要となってくると思われるが、市の考えを問う。また、レストラン二倉が休業してから約8ヶ月経過しているが、進捗状況を問う。マロンの里交流館は、数少ない観光資源。公共交通を巻き込む仕組み作りをして頂きたいが、市の考えを問う。

施設の維持・運営へ影響が大きい箇所から順次、計画的に修繕などを行っており、大規模改修についても市全体の事業の中で優先順位を見極めて判断したいと考えています。  
レストランは再開の目途が立ち、指定管理者と具体的な契約に向けて話し合いをしています。  
マロンの里交流館の活用について

### 問

## 晴海臨海公園 多目的グラウンドについて

は、観光や農村活性化を含め、さまざまな視点から検討します。

利用しているスポーツ団体に対して、説明会をしています。内容と説明会にて出た要望などの状況を問う。また水広場パワーアップありがとうございます。さらに笑顔になれる水広場にして頂きたいが、市の考えを問う。  
またインクルーシブ公園・遊具について、市の考えを問う。

### 答

令和6年度以降の整備計画に伴い、多目的グラウンドの面積が小さくなります。利用者であるスポーツ団体には整備工事のスケジュールや工事期間中の仮移転先、整地後の再配置計画について説明し協力をお願いしました。安全対策や早期整備、雨水排水対策などの要望があります。水広場では、噴水器具の交換や排水設備の改良を考えています。  
インクルーシブ公園・遊具については、すべての子どもたちが分け隔てなく遊ぶことができる魅力ある公園にするには大変意義深いことで、関係する当事者団体などの意見も聴きながら検討します。



とよかわ かずや  
**豊川 和也**

### 選挙の投票率向上へ 向けた取り組みについて

**問** 2023年大竹市議会議員選挙は過去ワーストの43.77%に留まり、市政、選挙への関心が薄まっているように感じます。私も政治家として投票率向上へ、今後取り組みますが、本市における今後の取り組みなどお考えをお聞かせください。

**答** 現在、市内8箇所に期日前投票所を設置しており、引き続き費用対効果や人員確保などの面を考慮しつつ、投票しやすい環境づくりや投票意識の向上に、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

### 施設や公園の命名権 (ネーミングライツ) の活用について

**問** 本市の公園や施設の命名権を企業に購入していただくネーミングライツを導入の考えはございますでしょうか。

**答** 本市でネーミングライツ制度を導入できる可能性が高い施設は、利用者数や施設の性質などから、晴海臨海公園が挙げられますが、晴海臨海公園は、現段階でも整備中の施設です。今後、公園全体の整備が完了し、将来的な運営管理の形態を検討する中で、新たな財源を得る手段として、ネーミングライツ制度の有効性について、引き続き研究していきたいと考えています。

### 市役所庁舎前広場で イベントなどの活用を

**問** 現在、市役所庁舎前広場は道路、市民の憩いの場になっており、マルシェなどイベントで活用の考えはございませんでしょうか。

**答** 現在のところ、本庁舎前の広場をイベント会場として位置付けるところまででは考えていないところであり、当面は、通行される市民の皆様の安全面を最優先して維持管理を行うとともに、必要に応じた補修を、順次、行っていきたくと考えています。



なかの ともひろ  
**中野 友博**

### 大竹市公式インスタグラム 導入について

**問** 平成25年に導入された大竹市フェイスブック。10年が経過し新たな広報媒体を検討しているか、現状の考えについて伺います。「大竹市公式インスタグラム導入」についての3つの見解をまとめます。まず、インスタグラムの採用理由1つ目は、既存のフェイスブックと同様の仕事量で担当者の負担が増えない点。連動させることで作業効率を向上させ、異なる年齢層のユーザーを補充できます。2つ目は、利用者が多く、導入自体の増加率が最も高いため、効果的な情報発信が期待できます。3つ目は、市民を巻き込む媒体であること。広報担当者のモチベーション向上と市民参加

**答** 型の広報活動の意識改革を促進します。以上の点から、大竹市外の方への情報発信力強化について、インスタグラム導入について見解を伺います。

情報発信の取組の方向性としては、現状で運用している情報発信媒体の問題点と課題を抽出し、その対策を講じながら、SNSなどの新たな情報発信媒体を検討することとしています。

今年度は、職員意識調査やこいこいフェスティバルにおいて市民アンケートを実施し、効果的な情報発信媒体について調査研究をしているところです。

今後、これらの調査結果、他市町の事例、各課の意見、職員の業務量・災害時・緊急時の運用方法、継続的・機能的な運用を図るための仕組みづくりなどを多角的に勘案して、本市における将来的な情報発信媒体の在り方の方向性を整理し、フェイスブックを含めたSNSによる新たな情報発信媒体について選定して行きたいと考えています。

今年度は、フェイスブック自体の将来的な運用について検討していますので、現段階で、本市の公式インスタグラムを新規に開設することは考えていません。





じついき きわむ  
**日域 究**

### 土地存在の確認について

**問** この土地は俺のだ、と主張し周囲の地権者も互いにそれを認め合う事が土地の存在確認と言っています。国土調査もある意味で同じこと。しかし、不明地の所在を市役所内部だけで、どこにあるかを決めているとすれば問題です。公図にない土地は課税を見送るか公図を訂正すべきではないですか。また、公図に無いけど課税している土地はどのくらい筆数がありますか。

**答** 公図にない地番であっても、固定資産税は応益税として土地の現況を重視しているため、より現況に即した評価資料として、地方税法第380条第3項に基づいた地番図を作成し、課税しています。最終的には法務局の公図と地番図は同様の内容にしなければならぬという認識は持っていますので、

令和6年度から実施する地籍の再調査の結果を踏まえ、地番図に徐々に反映させなければならぬと考えています。公図にないが地番図を作成し課税している土地について、確認する必要があると考えていますので、場所を絞って調査をするなど、まずは動き出ししてみようと考えています。

### 公共交通のあり方について

**問** このことで視察に行きましたが、一見良さそうでも町の形が違い、多くは大竹市に合いません。本市は今の方法を拡充していくべきだと感じました。そうであれば、支線交通に偏りが目立ちます。立戸、油見、白石、元町そして川手地区にも必要だと思えます。如何ですか。

**答** 支線交通に偏りがあるように思えるのは、生活に必要な移動手段を確保するため、高台の団地の住民が先行して取り組まれたことによるものです。支線交通のデマンド型乗合タクシーについて関心を持っていただけた地域が増えるよう、広く周知を行っていきます。地域自らが「交通手段を考え、創り、守り、育てる」という想いを持って、相談いただければ、市としても、交通事業者及び関係自治会などと一緒に解決に向けて取り組みます。



こいで てつよし  
**小出 哲義**

### 空き家問題として現れる地方都市が抱える課題解決に向けて

**問** 空き家対策は、特定空き家（周囲に著しい悪影響を及ぼす空き家）の対処だけでは限界が有るとの判断から、国は、空家等対策の推進に関する特別措置法を、一部改正しました。空き家の利活用と管理の確保を重点課題に加えたものとなっています。合わせて民法や不動産法も改正され、本気度が伺えます。その様な動きの中、大竹市も大竹市空家等対策の第2期計画を策定中です。法改正については、広く市民に周知すべきであり、相続や不動産の管理についての相談体制が充分であるかを問います。空き家問題を解決する為にも、総合戦略にある人口ビジョンの3つの基本目標を踏まえながら対処すべきであることから、対策協議会も担当課の枠を越えた総合的なもの

のついで欲しいと思います。

**答** 所有者を特定し、適正に管理するよう通知し、状況によっては、所有者などに直接会って、対策を講じてもらうようお願いしてきました。

また、市民をはじめ建物の所有者の方に問題意識を持ってもらうため、空き家の適正管理・活用をお願いするパンフレットを作成し、これを納税義務者へ郵送するとともに、市ホームページにも掲載して啓発活動を行っており、空き家対策の講演会・相談会の開催にも取り組んでいます。

居住目的のない空き家は、更に増加が見込まれ、空き家対策の強化が急務となっています。

こうした状況を踏まえ、国は、令和5年6月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」の一部を改正し、令和5年12月13日に施行されます。さらに国では、基本指針等の改正も、今後行う予定とされていますので、その動向を見極めながら、「大竹市空家等対策計画」を改訂し、今までより適切な対策を講じたいと考えています。

空き家等対策協議会を担当課の枠を超えたものとする意見については、参考にします。



にしむら かずひろ  
**西村 一啓**

## 市内の市道管理や維持等について伺う

問

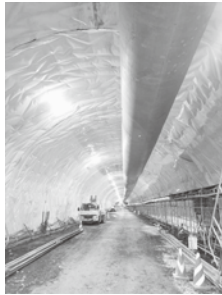
本市は来年70周年を迎えます。「笑顔・元氣・かがやく大竹」をキャッチフレーズに掲げて取組んでおりますが、人口減少化が進む中、住みたい町、住んでみたい町を作って行く上で、道路問題は喫緊の課題です。

本市の都市計画道路は、昭和32年に都市計画決定されて現在では37%の達成率と聞いております。この60年余りに中市立戸線、玖波青木線、南栄下白石線等が整備されています。しかし、幹線道路のひび割れ、路肩荒れ、路側帯の白線剥離の問題や高齢者の通院、買い物等に利用する歩道の整備や段差問題、更には子供たちの通学路や水路部分に

答

関わる安全性の確保等々多くの課題があります。予算的には、中長期的な計画や構想はこのように考えているのか伺う。

基本的には大竹市公共施設等総合管理計画の個別施設計画などに基つき順次整備を進めていきたいと考えています。道路の段差や路側帯の表示が薄い箇所については、舗装補修工事や交通安全対策工事に併せ、計画的に補修を実施しています。子どもたちの通学路については、「大竹市通学路交通安全プログラム」に基づき、毎年度、通学路の合同点検を行い、対応が必要とされる箇所について対策を実施しています。水路については、転落防止柵の設置など検討を行っています。隣接して宅地などがある箇所が多く、対策が進まない状況にあります。これらの実情を踏まえ、少しでもよりよい生活環境や安全性の向上を念頭に道路整備を実施していきたいと考えています。



建設中の岩国・大竹道路  
(R5.10.27現在)

## 第5回市議会(定例会) 議案の審議結果表(主な議案)

議案など	北地範久	中野友博	豊川和也	山代英資	岡和明	小出哲義	末広天佑	藤川和弘	中川智之	小田上尚典	西村一啓	山崎年一	日域 究	細川雅子	寺岡公章	審議結果
議案第 68 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 69 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 73 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 74 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 75 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 80 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 81 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第 85 号	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

この表は本会議で採決のあと、本人の申告にもとづいて作成したものです。  
—: 議長 ○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席 棄: 棄権

# 陳情

【陳情名】 消えた西国街道の復活とその原因の排除等を求める陳情

【提出者名】 大井 渉

【要旨】

大竹市に於いて西国街道の持つ歴史的意味は小さくありません。しかし、過去の地籍調査で西国街道である里道が公図から消えています。この復活を求めるとともに、この問題に起因していると思われる固定資産税の徴収方法や嘱託登記の問題点についても手法の是正と結果の正常化を求めます。

—以前より、大竹市は公図と異なる、市民税務課固定資産税係が作成した地番図を元にした課税を実施しておりますが、この地番図に記載されている地番の付番が公図と一致はしていません。

—この公図と異なる地番図を元にした独自の課税は長期間続けられており、市の地番図と法務局の公図との間でダブルスタンダードが固定化されています。西国街道の消失も、このような行政の混乱が影響している一例と考えられます。また現在、地籍調査、土地買収時の登記申請など関係資料が入手できない状況です。

つきましては次の4点のことを陳情いたします。

陳情項目

1. 地籍調査後に消えた、西国街道を調査事実に基づき公図上にも復活すること。
2. 法務局の公図など明確に存在が認められたものに課税し、法的根拠がないと表示している地番図に記載されている土地は、それを以て土地の存在の根拠とはならない、別途存在が確認されない限り課税は保留すること。
3. 小方2丁目1304-1の境界確定を早急に行い、市が動かした土地の説明を行うこと。
4. 嘱託登記で、当時、市が法務局に提出した境界確認が完了したとする書類を開示すること。

【付託委員会】

生活環境委員会

【委員会の結果】

不採択

【本会議の結果】

不採択

本会議での討論

【賛成】

地方税法第380条3項に基づき、市側は固定資産の評価に関して必要な書類を適切に管理していない。これは法に抵触しているのを改めること。また他の市町の例を見ても地番図が固定資産税の課税根拠として適切でないため、これを改めること。

【反対】

資料管理の不備については認めており、今後改善すると回答している。また課税方法も県に問い合わせたところ、市と見解は一致しており問題ない。境界決定の問題については陳情者と市が協議を前向きに進めることが一番の近道であり、議会では取り上げる必要はない。

## 議会を傍聴しませんか

3月議会日程(予定)

本会議	// (予備日)	3月25日(月)	本会議	// (予備日)	3月11日(月)	特別委員会	3月4日(月)	常任委員会	2月29日(木)	本会議	2月29日(木)
		3月18日(金)			3月8日(金)						
		3月15日(水)			3月1日(金)						



市議会では、予算や条例をはじめ行政に対する一般質問など、住みよいまちづくりをめざして審議をしています。

本会議、委員会とも傍聴できますので、議会がどのように運営されているのか傍聴してみませんか。

また、動画配信サイト(youtube)でも議会の様子を公開しています。下記バーコードを読み取っていただくと、視聴できます。

## 基地周辺対策特別委員会

令和5年12月6日開催

岩国飛行場周辺の航空機騒音状況比較資料により、大竹市内の航空機騒音状況（阿多田・西栄）等の推移について（令和5年5月～令和5年10月）報告を受けました。令和5年度上半期の騒音発生件数は、空母艦載機の移駐完了前の平成29年度と比較すると、大幅に増加しています。

年 度	阿多田測定地	西栄測定地
H29年度上半期（70デシベル以上）	832回	52回
R5年度上半期（70デシベル以上）	2144回	775回

※8月23日～9月12日まで測定器故障のため測定していません。

なお、90デシベル以上の測定は、5月81回、6月10回、7月26回、8月8回、9月34回、10月15回、となっています。11月29日、米軍オスプレイが鹿児島県屋久島東側沖合に墜落した事故と、11月以降、岩国市内で発生している米軍人による事件3件の対応について、報告を受けました。「今後とも情報が入り次第報告する」とのことでした。

今後の活動について、在日米軍等再編後の岩国基地周辺対策に関する事項として委員間で協議、次の項目について提案がありました。

- 1) 航空機騒音の実態調査
- 2) 研修会・講習会の開催
- 3) 他自治体対策委員会や団体との意見交換会の開催
- 4) 広島防衛局との研修会の開催

## 議会のあり方調査研究特別委員会

令和5年9月～12月

9月定例会における特別委員会の設置以降、10月11日(水)、26日(木)、11月21日(火)、12月6日(水)、27日(水)開催しました。

2年間の行動計画の作成と共有を行い、委員アンケートによって、大竹市議会が持つ課題の抽出に取り掛かりました。適正な議員定数の模索や委員会運営の機能向上、議会基本条例の精査など多岐にわたる意見が挙げられたなか、まずは優先事項として、

- 議会の広報広聴活動について
- 政務活動費について
- 議会・議員のあるべき姿の共有

の3点をテーマとして掲げました。

これらは令和6年3月を目安に、一定の方向性を出す予定にしています。具体的には委員が2つのグループに分かれテーマごとに研究をした後、プレゼン～質疑応答を行っています。今後は各グループ研究を融合するための意見交換を進め、委員会の意見としてまとめた上で、実現できるものから実施すべく、既存ルールの変更も視野にいれた議長への提案や、他の委員会への協力要請などにつなげていく予定です。

# 議会日誌

令和5年11月  
～令和6年1月

## 令和5年

- 11月1日 生活環境政策研究会
- 7日 一般国道2号廿日市大竹道路整備  
促進期成同盟会 要望活動(東京都)
- 9日 全国市議会議長会 理事会・評議会合同会議(東京都)
- 17日 議員全員協議会
- 20日 大竹・和木・岩国地域議会環境対策協議会
- 21日 議会のあり方調査研究特別委員会  
生活環境政策研究会
- 22日 議会運営委員会  
生活環境委員協議会  
広報広聴特別委員会
- 30日 本会議
- 12月1日 本会議
- 4日 総務文教委員会  
総務文教政策研究会
- 5日 生活環境委員会
- 6日 基地周辺対策特別委員会  
議会のあり方調査研究特別委員会  
広報広聴特別委員会
- 14日 議会運営委員会  
本会議

- 14日 総務文教委員会  
生活環境委員会  
議員全員協議会  
生活環境政策研究会
- 27日 議会のあり方調査研究特別委員会

## 令和6年

- 1月11日 議会運営委員会
- 17日 議会運営委員会  
臨時会  
総務文教委員会  
議員全員協議会  
生活環境委員協議会  
議会のあり方調査研究特別委員会
- 22日 議会のあり方調査研究特別委員会  
石油基地防災対策都市議会協議会 役員会(倉敷市)
- 23日 石油基地防災対策都市議会協議会 視察研修(倉敷市)
- 25日 広島県市議会議長会議員研修会(西部ブロック)(広島市)
- 31日 全国市議会議長会基地協議会(東京都)

### 【視察来訪】

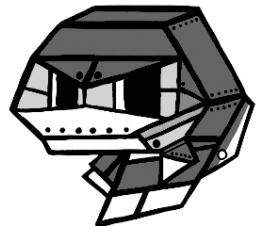
令和6年1月18日 福井県大野市議会「議会報告会の実施等について」

## 大竹市議会だよりアンケート

読者の皆さまからアンケートを  
募集しております。  
アンケートはこちらから ▶



## 【お試し】わしコイちゃん♡大竹市議会 @otake\_gikai



大竹市議会のアカウントが公開されとるで！  
まだまだお試し期間中じゃがの。  
議会とか、大竹市の町の様子をつぶやいとるで～  
まあまずはフォローしてみてください！



# 得意分野で 大竹を盛り上げる

第43回のインタビューは  
大好き大竹応援大使の

マッキー（まえだ まき）さんです。



自己紹介をお願いします

NPO法人広島ジャンボリープロジェクト（理事長）として広島県内外で、主に音楽イベントを中心に企画開催しています。大竹ではOh!バンブー倶楽部代表として、大竹駅前空き店舗（元丸山商店2F）で月一回「大竹賑わし」を目的としたバンブーライブを開催しています。また、メロイエローというグループで昭和のポップスを歌って活動しています。個人的には、帽子作家として数十年のキャリアがあります。

応援大使になるきっかけを教えてください

2010年から企画していたミュージックジャンボリーでは、全国から出

演者を募集して開催していました。その時に参加して下さるミュージシャンの出身地名を知らない事が多くあり、反対に私の生まれた大竹市の事もどこにあるかさえ知らないという人が多数いたことに気付かされたんです。それが根底にあり、応援大使として大竹を発信していけたら良いなと考えました。



メロイエローメンバーの皆さん

大竹市の思い出の場所や出来事をお聞かせください

実家の裏にある大河原山には子供の頃家族で良く山登りをしたり、山菜取りをして遊びました。そこでおむすびを食べながら、大竹市内を見渡すのが好きでした！2008年に親と同居することで実家を建て替え、戻ってきました。その覚悟もあり、大竹のことを改めて見まわしたら知らない事や場所ばかりでした。若いときは大竹から出ていくことばかり考えていて、大学で関東に行き、やっと遠く離れたと思ったのに、年齢を重ねて帰ってきて、大竹を大切に思う自分がいます。

応援大使として今後どのようにして大竹市を盛り上げたいですか？

自分が得意な分野を生かすことが進めて行ける力になると思っっているので、音楽イベントを中心とした企画で、大竹に来てもらったり、メロイエローで市外に出てライブした時などに大竹を知っていただくことを継続していきたいと思います。

今後の活動など大竹市民へメッセージをお願いします

毎月1回（第1又は第2土曜日）大竹駅前の元丸山商店2Fにてバンブーライブを開催しています。大竹市外のミュージシャンも沢山出演して入場は無料なので、気軽に遊びに来て、あなたも「大竹賑わしにちい」と参加してみませんか？また、バンブーライブを大竹市内外に出向いて出張ライブとして開催も予定しています。来て欲しいと希望していただければ飛んでいきますので、ご連絡お待ちしております！



バンブーライブの様子

あとがき

令和5年もあつという間に終わり新しい年を迎えました。広報広聴特別委員会の委員も新たなメンバーとなりX（旧ツイッター）を使用している発信をさらに充実したものに、フォローワー（見てくれる人）を増やそうと取り組んでいます。議員が何をしているかわからないという声がある中、こちらから発信していくことが大事と、SNSの得意な人、不得意な人も一丸となって行っています。

スマホを持っている人が約80%という時代。こちらから必要な情報をタイムリーに発信できるXは大変有効であることは間違いありませんが、気を付けなければならぬ事もあります。フォローワー数を増やすためだけでなく正しい情報を、分かりやすく伝えていけるよう、工夫して行っています。是非ご覧ください、できればフォローを。

中川 智之

## 広報広聴特別委員



委員長 藤川 和弘  
副委員長 中川 智之  
委員 中野 友博  
豊川 和也  
山代 英  
小末 哲天  
義天 哲天

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

